

## 青森ブランド・プレゼンテーション 提案書 (記載例 1)

提案者氏名・グループ名	〇〇 太郎	
代表者連絡先	住所	〒030-8570 青森市長島1-1-1
	電話番号	017-722-1111
	メールアドレス	kikaku@pref.aomori.lg.jp

提案区分 (選択)	<input checked="" type="checkbox"/> 移住・定住の促進 <input type="checkbox"/> 地元定着の促進
-----------	---

タイトル	「孫ターン」で賑わう青森のアグリ (農業)
プレゼンテーションの趣旨・概要 (100字程度)	祖父母の居住地を縁に県内外から移住する「孫ターン」が注目される中、「孫」世代へ具体的なアプローチを始めることで、移住・定住の促進、農業の担い手不足解消の手がかりとする。

プレゼン展開イメージ	提案内容の説明
① 例) 着眼点 1	都会の喧騒を離れ、豊かな自然環境の中、地方で農業に従事することに魅力を感じる若者は増えている。その中でも、農地を持つ祖父母を縁に移住・定住する「孫ターン」が全国的にも注目されている。
② 例) 着眼点 2	農地を持つ祖父母がいる「孫」にとっては、祖父母の家や農地、地縁があるため、生計を立てるきっかけが得やすく、地域の定住対策の一環として大いに期待されるのではないかと。
③ 例) 取組の内容 1	そこで、県内外に「孫」がいる地域の農家を調査・リスト化し、「孫」に対して、行政の新規就農支援や移住・定住支援の情報、まちと暮らしの魅力が分かる資料、イベント情報などを送るなどして情報提供を行う。
④ 例) 取組の内容 2	「孫」側からリアクションや相談があった場合には、祖父母が所有する農地で具体的にどのような耕作計画が可能か、経営シミュレーションを提示することで、就農と移住・定住を訴求する。
⑤ 例) 取組の効果	「孫ターン」の促進は、移住・定住を推進するファクターとなり、今後、より一層深刻となる農業の担い手不足や高齢化、耕作地放棄に対しても効果的な取組になると思われる。 「孫ターン」で青森のアグリ (農業) を盛り上げたい。

※ 本様式のほか、パワーポイントの概要版 (8スライド以内) 等、提案の内容がわかる資料を提出  
 ※ 上記はあくまで記載例です。提案いただく内容は、記載例にとられる必要はありません。

## 青森ブランド・プレゼンテーション 提案書 (記載例 2)

提案者氏名・グループ名	〇〇株式会社 企画部 〇〇 花子	
代表者連絡先	住所	〒030-8570 青森市長島1-1-1
	電話番号	017-722-1111
	メールアドレス	kikaku@pref.aomori.lg.jp

提案区分 (選択)	<input checked="" type="checkbox"/> 移住・定住の促進 <input type="checkbox"/> 地元定着の促進
-----------	---

タイトル	あつまれ！わがまちクリエイター
プレゼンテーションの趣旨・概要 (100字程度)	全国各地のアーティストやデザイナーといったクリエイターたちをまちづくりに活用しながら、クリエイター自身にも青森県に住んでもらうことで、まちのイメージアップと移住・定住の促進につなげます！

プレゼン展開イメージ	提案内容の説明
① 例) わたしの提案 1	世の中にはたくさんのアーティストやデザイナーがいます。こういったクリエイターたちを地域づくりに活かしてはどうでしょうか。まちの景観ひとつひとつがオシャレであれば、住みたい！と思う人が増えるはず。
② 例) わたしの提案 2	青森県にも空き家がたくさんあるように思います。空き家が放置されていると見た目もよくないですし、まちの元気がないみたいで、ため息が出ます。いっそのこと、空き家を活用してクリエイターたちの創作活動ができるアトリエを整備してはどうでしょうか。
③ 例) さらに！	さらに、アートによるまちづくりに取り組んでくれるクリエイターを全国から募集して、空き家を自分自身でリフォームして住んでもらいます。リフォームの費用は少し支援してあげれば、本気で考えてくれる人がいるかもしれません。
④ 例) こんな効果が期待できます！	クリエイターたちの移住が期待できます。「クリエイターたちが住むまち」として発信すれば、他の人たちにも広がっていくかもしれません。地元の芸術家たちと交流してもらっても面白そうです。芸術活動に理解のある地域として、まちのイメージアップにもなります！
⑤	

※ 本様式のほか、パワーポイントの概要版（8スライド以内）等、提案の内容がわかる資料を提出

※ 上記はあくまで記載例です。提案いただく内容は、記載例にとらわれる必要はありません。

## 青森ブランド・プレゼンテーション 提案書 (記載例 3)

提案者氏名・グループ名	〇〇大学 地域産業学部 〇〇ゼミ 4年生 〇〇 太郎	
代表者連絡先	住所	〒030-8570 青森市長島1-1-1
	電話番号	017-722-1111
	メールアドレス	kikaku@pref.aomori.lg.jp

提案区分 (選択)	<input type="checkbox"/> 移住・定住の促進 <input checked="" type="checkbox"/> 地元定着の促進
-----------	---

タイトル	つながる・広がる・地域活動ネットワーク
プレゼンテーションの趣旨・概要 (100字程度)	現役大学生と卒業した社会人が一体となって活動するネットワークを産官学が連携して創り出すことにより、人や地域とのつながりを生み出し、地域への愛着と地元定着を図ることを提案したい。

プレゼン展開イメージ	提案内容の説明
① 例) 問題提起	地元定着には、「人・地域とのつながり」が最も大切と考える。大学生の頃は、大学内外のコミュニティで多くの交流があるが、卒業して社会人となると、途端に「つながる」機会が失われてしまう。
② 例) 取組の提案 1	卒業してもコミュニティは続いていくという安心感を大学在学時から実感してもらうため、大学生と社会人が一体となったネットワークの土台を自治体が音頭をとって創り上げてはどうか。
③ 例) 取組の提案 2	このネットワークでは、自治体からの委託を受けて、祭りや婚活などのイベント、ボランティア、レクリエーションなどの地域活動を発案・企画し実践する。活動拠点は域内大学が提供し、活動に必要なリソースについては、自治体・大学・地元企業が連携して支援する。
④ 例) 取組の展開	当初は、大学が立地する自治体での活動が中心になるかと思われるが、趣旨に賛同してもらえる自治体にも順次参画してもらい、ネットワークと活動範囲を広げていく。
⑤ 例) 私の思い	コミュニティへの帰属意識と自分が主体的に地域に関わっているという認識こそが地域への愛着を育むのではないか。社会人になっても決して「ひとり」ではない。人とつながることは地域とつながることである。

※ 本様式のほか、パワーポイントの概要版 (8スライド以内) 等、提案の内容がわかる資料を提出

※ 上記はあくまで記載例です。提案いただく内容は、記載例にとらわれる必要はありません。